

女性活躍推進事業【富山県魚津市】

総事業費	381千円
交付金額	190千円

地域の実情と課題

- 富山県は、女性雇用者における正社員の割合は全国的に見ても高い水準であるが、女性管理職率は低い水準にある。魚津市においても、R2実施の「女性登用に対する企業の意識調査」によると全国の女性管理職率が50.2%に対し、魚津市は29.2%であり(R1実施、男女協働参画推進アンケートより)、低い状況が続いている。
- 職場においては、長時間労働が当然とされている男性中心の考え方を前提とする労働慣行が根付いており、家事と両立しつつ能力を十分に発揮して働きたい女性が希望通り活躍できない背景がある。

事業の特徴

- 基調講演・パネルディスカッションで、女性の理系人材の育成に知見の深い専門家や、企業、労働者、行政の様々な視点での意見や事例の紹介を行い、あらゆる分野で、性別関係なく活躍できる職場環境の整備の推進を図った。
- 魚津市内企業へのヒアリングやアンケートを通じて、女性活躍推進に関する補助金等の各種制度の周知に対するニーズがあったことを踏まえ、シンポジウムの中で富山労働局・富山県より制度紹介の時間を設けた。制度利用を促し、企業が取り組みを行うきっかけとした。

事業の効果

- 参加者数が計93名と、目標30名よりも大幅に上回った。併せて、シンポジウム後のアンケートより、未来に向けて持続可能性を高めるためには、女性活躍推進が必要であるという意見や、地元企業の事例などから、従業員とコミュニケーションを綿密に行うなど、何を始めたら良いかがわかり、意欲を持つことができた、という意見が多く見られた。

これからの時代における、女性活躍推進の必要性について、認識していただけただけでなく、女性活躍推進へのモチベーション向上につながったと思われる。
(回答数44中、満足・どちらかという満足回答41)

目的・目標

- 有識者による講演や、パネルディスカッションを通して、倫理的に女性活躍推進を行うべきという観点だけでなく、先行き不透明な社会情勢の中で、経営の多様化や優秀な人材の確保という観点でも、女性活躍推進の必要性を認識し、多様な人材が活躍できる地域形成への意識醸成を図る。

《目標》
シンポジウム参加者数 30名

《実績》
93名(オンライン25名、会場68名)

連携団体

- 富山県内関係団体
富山労働局、富山県女性活躍推進課、ハローワーク魚津、魚津商工会議所、富山県中小企業家同友会、富山県保証協会、連合富山新川地域協議会など

今後の課題

シンポジウム前後のアンケートより、「女性活躍推進の必要性は理解したが、従業員が育児休業を取得した後の人員の補填やロールモデルの不在など、取り組みを進めて行く上で課題感があり、中小企業には困難である。」という意見が見られた。

今後、企業への、普及啓発も引き続き必要だが、女性活躍推進の必要性を理解している市内企業が具体的な取り組みを進める際の、バックアップが必要だと思われる。

事業の概要

働き方改革・女性活躍推進シンポジウムの開催

企業代表者や人事担当者等を対象に以下の内容を行い、女性活躍推進は企業として必ず行わなければならないことを認識するとともに、何から始めたらよいか考えるきっかけを作った。

【日時】 令和4年12月21日(水) 13:30~16:00

【場所】 新川文化ホール 小ホール

【参加料】 無料

【内容】 ①有識者による基調講演及び優良事例の紹介

成長力があり、持続可能な企業であるには、女性の活躍が欠かせないことや、女性活躍を妨げている「アンコンシャスバイアス」について企業に理解してもらい、女性活躍推進への取り組みは企業にとって欠かせないものであると認識させた。また、優良事例の紹介により、どのようなアプローチが効果的か認識を深めることを目的とした。

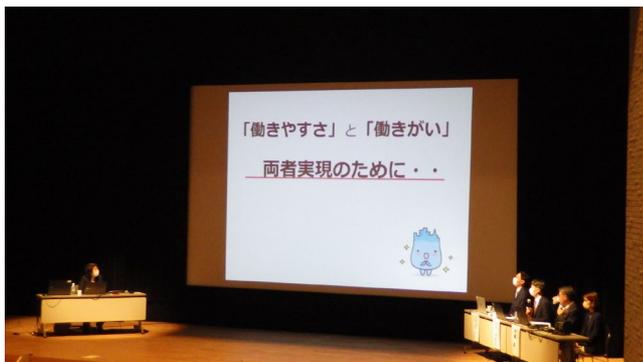
②富山労働局・富山県の制度紹介

市内企業へのヒアリングの中で、女性活躍に関する様々な制度が、労働局や県にあるにも関わらず、知っている企業が少ないのではないかという意見があったことから、制度の周知を行うとともに、制度について知る事で、企業が働き方改革・女性活躍の取り組みを行うきっかけとした。

③パネルディスカッション

様々な視点からの意見を通して、参加者が女性活躍推進に関して足りない要素や改善点について考え、女性活躍推進を「わがごと」として捉えることを目的とし、「働きやすさと働きがいの両立について」というテーマでパネルディスカッションを行った。また、パネルディスカッションの中で市内企業(パネラー)の事例の紹介も行った。

コーディネーターとして、基調講演にて登壇した永合氏、株式会社東城の代表者、日本労働組合総連合会富山県連合会会長、魚津市長がパネラーとして登壇した。



魚津市 働き方改革・女性活躍推進シンポジウム

「働き方改革」や「女性活躍推進」は企業成長という観点でも必要不可欠であり、今後ますます求められることが予想されます。そのような中で「女性が少ない職場で、女性活躍推進を進めることはできるのか。」「まず何から始めたいのか。」「やみくもに働く時間短縮を推し進めればいいのか。」「そもそも時間や休みは少なすぎるのか。このシンポジウムで、今後何を取組むべきなのか、足取りとなるヒントを見つけてみませんか。

日時 令和4年12月21日(水) 13:30~16:00(受付13:00~)

場所 新川文化ホール 小ホール ※オンライン同時開催

会場 魚津市内企業の経営者、人事担当者

参加費 無料

申し込み方法 奥書の申込書に必要事項を記載の上、FAX・郵送またはメールよりお申し込みください。メール: syokokankou@city.uozu.lg.jp F A X : 0765-23-1060

お申し込み締切 12月19日(月)

基調講演 第一講 「アンコンシャスバイアスを減らして～女性のワークライフをどうするか～」
永合 由美子 氏
アール・フューチャー 代表取締役・フューチャー・インベンスの副社長、アール・フューチャー・インベンスの代表取締役
*特別ゲスト 富山県労働局長 藤原 隆夫 氏
富山県労働局 労働政策課長 藤原 隆夫 氏

制度紹介 富山の勤労 雇用関係、労働安全 助成金部長 西山 氏
富山県働き方改革・女性活躍推進室 女性活躍推進課 課長 藤浦 氏

パネルディスカッション *テーマ…「働きやすさ」と「働きがい」の両立について
*登壇者… 永合 由美子 氏
株式会社東城 代表取締役社長 吉田 悟一郎 氏
日本労働組合 富山県連合会会長 岸野 秀隆 氏
魚津市長 村瀬 晃

主催 魚津市 後援 富山労働局 富山県